

# 医療とコミュニケーション

責任者・コーディネーター	人間科学科心理学・行動科学分野 藤澤 美穂 准教授		
担当講座・学科(分野)	人間科学科心理学・行動科学分野、教養教育センター		
対象学年	1	区分/単位数	講義/1単位
期間	前期		

## ・学修方針(講義概要等)

医療人にとって必要な情報伝達について、アクティブラーニングやワークを通じて学ぶ。あらゆるコミュニケーションのベースとなる「みること」「きくこと」の多様性について知り、障がいを持った人々との情報交換のあり方も含め、医療現場で必要なコミュニケーションの種類とその心構えについて理解する。情報を集め、それを分類・理解し、正しく発信するための基本的なことから学修する。そしてわかりやすい表現で自分の考えを伝えるための技術を修得する。さらに、医療面接の手法を学んでいくための準備として、コーチングという対話の仕方について理解を深める。

## ・教育成果(アウトカム)

コミュニケーションの多様性と可能性の実態に関する講義内容を整理し、医療人にとって必要なコミュニケーションの種類とそれぞれのコミュニケーションの仕方の留意点を認識し、実践することができる。

### 【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。

## ・到達目標(SBO)

1. 医療人にとって必要なコミュニケーションについて基本的なことから説明することができる。
2. 情報を正しく受け取り、わかりやすく伝達することができる。
3. 相手の自己肯定感を上げるコミュニケーションのポイントを理解し、実践することができる。
4. 障がいの者のコミュニケーションの実態について理解することができる。
5. 看護において、コミュニケーションが人々との相互の関係に影響することを理解できる。
6. 人々との相互関係を成立させるために必要とされるコミュニケーション技法について説明できる。
7. 地域社会の変化、保健・医療・福祉の動向を踏まえ、今後の看護職に求められる役割や責任について考察できる。
8. 多様な文化背景をもつ人々の生活の支援に必要な能力を理解できる。
9. 多様な健康状態にある人に応じた健康の捉え方の重要性について理解できる。
10. 健康を支援するために環境に働きかけていく必要性について説明できる。
11. コミュニケーション(言語的・非言語的)の相互作用について理解できる。
12. 言語表現・非言語表現を用いた対象者との相互作用を通して関係を形成することができる。
13. 看護におけるコミュニケーション技術を習得する。
14. チーム医療の中で、相互の尊重・連携・協働について説明できる。
15. 様々なライフサイクル、健康レベルにある人々への住み慣れた地域での健康支援の必要性について説明できる。
16. ノーマライゼーションの支援について理解できる。

## ・授業日程

### 【講義】

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
4/19 (金) 3限	<p>【授業内容】医療におけるさまざまなコミュニケーション[双方向授業][ICT(WebClass)]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. さまざまな現場や対象者(年齢、障がい等)とのコミュニケーションについて学び、その特徴を述べる事ができる。</li> <li>2. 言語的・非言語的コミュニケーションについて学び、その特徴を説明できる。</li> <li>3. 相手の立場にたったコミュニケーションとは何かを考えることで、医療人となる自分が今後身につけるべき態度・技能は何であるか、述べる事ができる。</li> </ol> <p>【関連するSBO】1、5、6、14</p> <p>【事前学修:20分】どのような医療現場とコミュニケーションの特徴があるか、インターネット等で調べ、まとめる</p> <p>【事後学修:30分】講義資料を復習する。ワークをふりかえる。</p>	心理学・行動科学分野 藤澤 美穂 准教授

4/25 (木) 1限	<p>【授業内容】コミュニケーションに役立つ脳科学と心身相関[体験型授業:言葉、考えがどのように身体に影響するかなどの体験をする]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.脳とからだの情報伝達について理解できる。</li> <li>2.言葉や思考と筋肉の反応の関係を理解できる。</li> <li>3.身体感覚に意識を向け、身体感覚に気づくことができる。</li> </ol> <p>【関連するSBO】5、6、13 【事前学修:20分】心と身体つながりについて、自分の体験をまとめる。 【事後学修:30分】講義内容を復習する。</p>	<p>教養教育センター 駒野 宏人 非常勤講師</p>
5/2 (木) 3限	<p>【授業内容】地域医療におけるさまざまなコミュニケーション[双方向授業][ICT(WebClass)]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.地域医療現場に必要なコミュニケーションを検討するため、現代社会を取り巻く状況(少子高齢化やジェンダーギャップ、メンタルヘルス問題(自殺問題含む)等)への理解を深める。</li> <li>2.地域医療において、患者や家族の立場にたったコミュニケーションとはどういうものかについて、自身の考えを述べるができる。</li> </ol> <p>【関連するSBO】1、4、7、8、9、10、15 【事前学修:20分】1回目講義資料を復習する。 【事後学修:30分】WebClassでの確認テストに取り組み、結果のフィードバックを受ける。医療人としてのコミュニケーションのあるべき姿について、要点をまとめる。</p>	<p>心理学・行動科学分野 藤澤 美穂 准教授</p>
5/9 (木) 1限	<p>【授業内容】コーチング1:コーチングの概要[ワーク]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.コーチングとティーチングの違いを説明できる。</li> <li>2.コーチングの価値と可能性を理解できる。</li> </ol> <p>【関連するSBO】2、3、11、12 【事前学修:20分】「コーチング」についてインターネットなどで調べる。 【事後学修:30分】講義内容を実践する。</p>	<p>教養教育センター 平野 順子 非常勤講師</p>
5/16 (木) 1限	<p>【授業内容】コーチング2:相手の話を聴く姿勢[ワーク]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.傾聴することの重要性を理解できる。</li> <li>2.傾聴の基本を実践できる。</li> </ol> <p>【関連するSBO】2、3、11、12 【事前学修:20分】前回の講義資料を復習する。 【事後学修:30分】講義内容を実践する。</p>	<p>教養教育センター 平野 順子 非常勤講師</p>
5/23 (木) 1限	<p>【授業内容】コーチング3:相手を認めるメッセージ[ワーク]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.相手を認めることの重要性を理解できる。</li> <li>2.自己肯定感を高めるメッセージを伝えることができる。</li> </ol> <p>【関連するSBO】2、3、11、12 【事前学修:20分】前回の講義資料を復習する。 【事後学修:30分】講義内容を実践する。</p>	<p>教養教育センター 平野 順子 非常勤講師</p>
5/30 (木) 1限	<p>【授業内容】コーチング4:相手の答えを引き出す質問[ワーク]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.質問の種類を説明できる。</li> <li>2.答えを引き出す質問をすることができる。</li> </ol> <p>【関連するSBO】2、3、11、12 【事前学修:20分】前回の講義資料を復習する。 【事後学修:30分】講義内容を実践する。</p>	<p>教養教育センター 平野 順子 非常勤講師</p>
6/6 (木) 1限	<p>【授業内容】自閉症児(ASD)のコミュニケーション[双方向授業]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.ASDの言語理解や対人認知、その他の認識の特長について理解できる。</li> <li>2.ASDと上手に関わり、安心して生活できる環境の作り方を提案できる。</li> </ol> <p>【関連するSBO】4、8、15、16 【事前学修:20分】1回目と3回目の講義資料を復習する。 【事後学修:30分】講義資料を復習する。 形成的評価:WebClassによる「理解度チェック」に取り組み、結果のフィードバックを受ける。</p>	<p>教養教育センター 大関 信隆 非常勤講師</p>
6/13 (木) 1限	<p>【授業内容】宮澤賢治「永訣の朝」を読む</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.宮澤賢治「永訣の朝」について説明することができるようになる。</li> <li>2.他者(作者)の意図を考えられるようになる。</li> </ol> <p>【関連するSBO】11、12、13 【事前学修:20分】宮澤賢治についてインターネットなどで調べる。 【事後学修:30分】講義資料を復習する</p>	<p>教養教育センター 塩谷 昌弘 非常勤講師</p>
6/20 (木) 1限	<p>【授業内容】宮澤賢治「眼にて云ふ」を読む</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.宮澤賢治「眼にて云ふ」を読むことで、非言語的コミュニケーションについて説明できるようになる。</li> <li>2.詩を読むことを通して、他者への理解を深めることができる。</li> </ol> <p>【関連するSBO】11、12、13 【事前学修:20分】前回の講義資料を復習する。 【事後学修:30分】講義資料を復習する。</p>	<p>教養教育センター 塩谷 昌弘 非常勤講師</p>

6/27 (木) 1限	<b>【授業内容】</b> 宮澤賢治「やまなし」を読む 1.宮澤賢治の「やまなし」を読むことで、発話の体系について説明することができるようになる。 2.他者の発話の在り方に注意を向けられるようになる。 <b>【関連するSBO】</b> 11、12、13 <b>【事前学修:20分】</b> 前回の講義資料を復習する。 <b>【事後学修:30分】</b> 講義資料を復習する。	教養教育センター 塩谷 昌弘 非常勤講師
7/4 (木) 1限	<b>【授業内容】</b> 宮澤賢治「猫の事務所」を読む 1.宮澤賢治の「猫の事務所」を読むことで、組織のなかのコミュニケーションについて考えられるようになる。 2.差別の構造について説明することができるようになる。 <b>【関連するSBO】</b> 11、12、13 <b>【事前学修:20分】</b> 前回の講義資料を復習する。 <b>【事後学修:30分】</b> 講義資料を復習する。	教養教育センター 塩谷 昌弘 非常勤講師
7/11 (木) 1限	<b>【授業内容】</b> 宮澤賢治「よだかの星」を読む 1.宮澤賢治の「よだかの星」をコミュニケーションの視点から読むことができるようになる。 2.他者の「生」の在り方に意識的に注意を向けられるようになる。 <b>【関連するSBO】</b> 11、12、13 <b>【事前学修:20分】</b> 前回の講義資料を復習する。 <b>【事後学修:30分】</b> 講義資料を復習する。	教養教育センター 塩谷 昌弘 非常勤講師
7/18 (木) 1限	<b>【授業内容】</b> 宮澤賢治作品とコミュニケーション 1.宮澤賢治作品とコミュニケーションとを関連させて説明することができる。 2.コミュニケーションの多様な様態について説明することができる。 <b>【関連するSBO】</b> 11、12、13 <b>【事前学修:20分】</b> 前回の講義資料を復習する。 <b>【事後学修:450分】</b> 講義資料を復習する。期末レポートを作成する。	教養教育センター 塩谷 昌弘 非常勤講師

・教科書・参考書等

教:教科書

参:参考書

推:推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	スタディ・ナビゲーション	人間科学科・附属図書館	岩手医科大学	2024
参	人材育成で大切なこと 人の可能性を引き出すコーチングの真の価値	平野順子	BookTrip	2021

・成績評価方法

【総括的評価】ワークシート・レスポンスシート記載内容(50%)、確認テストの成績(10%)、期末レポート(40%)によって総合的に評価する。ワークシート・レスポンスシート記載内容は、シートに記載された内容およびWebClassに入力・提出された内容を対象とし、初回講義で示す「ワーク評価基準」に従い評価する。確認テストはMCQ:多肢選択式問題をWebClassから出題する。期末レポートは共通1題+選択式1題の、計2題を出題し、WebClassからの提出を求める。

【形成的評価】8回目の講義にてWebClassより「理解度チェック」を実施し、理解度・到達度を確認する。理解度チェックの結果はWebClassからフィードバックする。理解度チェックの結果は成績には反映しない。

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

ワークシート・レスポンスシートへの記載・入力内容については、内容に応じて翌回の講義内でフィードバックをおこなう。適宜WebClassからもフィードバックをおこなう。

WebClassでの確認テストを実施する回を設定する。結果はWebClassにてフィードバックする。

レポート試験後に講評・解説等をWebClassにておこなう。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師(別表3):基礎分野 科学的思考の基盤

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影
講義	ノート型PC(MacBook Air MD711J/A)	1	講義資料の提示
講義	DVD(BR)プレーヤー	1	教材の提示
講義	デスクトップPC(iMac (Retina 5K, 27-inch, 2017))	1	講義資料の作成